

## 2019(令和元)年台風19号等の災害における学生ボランティアについて

2019年10月16日  
九州大学災害支援団

2019(令和元)年台風第19号により被災された学生の皆様とご家族、関係の皆様に対し、心よりお見舞い申し上げます。

九州大学では、先般の「2019年8月九州北部豪雨」におきまして、学生の皆さんへ災害ボランティア活動の呼びかけをさせて頂きました。その後も、岡山県新見市豪雨、台風15号(千葉県・東京都)、そして10月12日の台風19号と連続して大規模な自然災害が発生しており、各地に甚大な被害がもたらされております。特に今回の台風19号におきましては、岩手県・宮城県・福島県・茨城県・栃木県・群馬県・新潟県・山梨県・長野県・埼玉県・東京都・神奈川県内の計308市区町村に災害救助法が適用され(10月13日12時現在)、未だ被災の全容が把握されていない地域もあります。

九州から東北地方に至る広い範囲において、復旧・復興作業で多くの人の支えが必要とされている中で、九州大学では引き続き、教職員・学生が一丸となって被災地域を支えていきたいと考えています。そこで、学生の皆さんへ改めて災害ボランティア参加について呼びかけをさせて頂きます。

九州大学では、2018年8月に災害ボランティア活動に係る留意事項とともに、経済的補助についてお知らせをさせて頂きました(別添)。本学学生におきましては、以上の内容を熟読した上で、災害ボランティア活動の参加を検討ください。

また、「2017(平成29)年7月九州北部豪雨」をきっかけに、教員有志で「九州大学災害支援団」を組織しました。今回の災害につきましても、支援団を中心に支援に取り組んでおります。

支援団では、「現地の情報共有」「個別ボランティアの呼びかけ」「ボランティアへの心構えの周知」「各種相談」について、SNS等でやりとりしています。今回は特に被災エリアが広く、不確定な情報も多い状況です。個人でボランティアに参加検討している学生は、まずは下記の支援団の学生ボランティア担当まで連絡頂き、情報を共有・吟味した上でより安全な災害ボランティア活動を目指してください。

### 【お問い合わせ】

九州大学災害支援団 学生ボランティア担当  
田北雅裕(人間環境学研究院教育学部門)  
E-mail: takita.masahiro.626★m.kyushu-u.ac.jp  
※メールアドレスの★を@に変更してください